



CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs



2021.03.01 第11号 外来語をもっと知り、もっと楽しもう!

言語学には色々な楽しみがありますが、国際交流で生まれる「外来語」が僕は特に好きです! 母国語の英語は日本語の言葉も使われますし、日本語には沢山の外来のカタカナ語もあります。しかし、外来語は誤解してしまいがちなので、よく勉強することが必要です! 今回はいくつかの面白い例を紹介します! ~ラブ国際交流員~

英語で使われる日本語由来の言葉

日本語の意味や発音と
異なるケースが多い!

sake

「サケ、サキ」

由来: 酒

意味: 日本酒

※他のアルコールには使わない

例文: I'll have a bottle of sake.

日本酒の瓶をください。



umami

「ウマミ」

由来: 旨味

意味: 旨味

※食通な人がよく使う言葉

例文: You can really taste the umami in this dish.

この料理は旨味がよく感じられます。



hibachi

「ヒバチ」

由来: 火鉢

意味: 鉄板焼きとそのレストラン

※特にアメリカで使われる

例文: Let's go out for hibachi tonight.

今夜は鉄板焼きを食べに行きましょう。



teriyaki

「テリヤキ」

由来: 照り焼き

意味: テリヤキソースで味付けた料理

※調理法よりは料理やソースのことを示す

例文: I had teriyaki chicken for lunch.

昼ごはんはテリヤキチキンでした。

※chicken teriyakiの順番でも良い



tycoon

「タイクーン」

由来: 大君

意味: 大物、実力者、大富豪

※お金だけでなく影響力もある人

例文: Steve Jobs was one of tech's biggest tycoons.

スティーブ・ジョブズはハイテク業界の偉大なる実力者の1人でした。



honcho

「ハンチョ」

由来: 班長

意味: 組織のリーダー、1番偉い人

※'head honcho'というフレーズで使うことが多い(意味は同じ)

例文: Bill is the head honcho here.

ビルさんはここの1番偉い人です。





CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!
押してね◎

2021.03.01 第11号 外来語をもっと知り、もっと楽しもう!

英語では全然伝わらないカタカナ語

「カタカナだから英語で伝わるだろう」
と思ったら困る!
他の外国語も知ろう!

ドイツ語由来

ウイルス (virus)

英語: virus (ヴァイラス)

つづりは同じだけど、発音は全く違う!

ワクチン (vakzin)

英語: vaccine (ヴァクシオン)

カタカナの医学用語はドイツ語が多い!



ポルトガル語由来

パン (pão)

英語: bread (ブレッド)

「パン」の発音はスペイン語もフランス語も同じ!



イギリス (inglês)

英語: England (イングランド)

連合王国のことは United Kingdom といい、
England はその1部である!



フランス語由来

アンケート (enquête)

英語: survey (サーヴェイ)

questionnaire (クエスチョネア)ともいえる!



ピエロ (Pierrot)

英語: clown (クラウン)

Pierrot は clown の1種だけで、
フランス語でも普通に clown という!



オランダ語由来

ゴム (gom)

英語: rubber (ラバー)

消しゴムの場合は eraser (イレーサー)!



オルゴール (orgel)

英語: music box (ミュージック・ボックス)

オランダ語では、orgel はオルガンのこと、
オルゴールのことは speeldoos という!

